

第150回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和5年1月31日(火) 17:06~17:20	場所	議場
出席者	白井市長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、福祉保健部長代理根本地域福祉課長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、北村議会事務局長、伊藤健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、富田企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長代理宮腰地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 各部連絡事項			
資料	1 新型コロナウイルスワクチン接種状況について 2 抗原検査キット配付実績			
(進行：総務部長) (市長) 第8波と言われるなか、感染状況をみると落ち着きをみせてきている。分類の見直しの話もあり、市としてどのような対応を行うか問われる場面も出てくると思われるが、医師会等と連携し進めていきたい。 1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 新型コロナウイルスワクチン接種状況について (新型コロナウイルス感染症対策担当課長) ・新型コロナウイルスワクチン接種状況については、資料のとおりである。 ・令和5年2月9日以降の集団接種体制については、資料のとおりである。 ・令和5年度のワクチン接種について、1月30日に、厚生労働省による自治体説明会が開催された。詳細は資料のとおりであるが、「令和5年4月以降も必要な接種については、引き続き自己負担なく受けられるようにする」、「詳細は厚生労働省審議会で議論し、年度内に決定する」、「感染症法上の分類が5類になった場合でも、予防接種法に基づき無料での接種継続が可能である」ことが示された。今後も情報収集を行い、関係者と調整し、準備を進めていきたい。 (2) 抗原検査キット配付実績について (健康課長) ・1月16日から27日までの抗原検査キット配付実績については、資料のとおりである。配付上限25件のところ、その上限に達する日はなかった。東京都の感染者数は減少傾向にあり、そのことに伴って、抗原検査キットの配付件数も減少していると考えている。 (市長)				

- ・抗原検査キットの配付事業は、年度末まで実施するのか。

(健康課長)

- ・その予定である。

(市長)

- ・抗原検査キット配付だけでなく、自宅療養者の支援物資搬送状況等を次回会議までにまとめてほしい。

2 各部連絡事項について

(総務部長)

- ・職員の感染状況は、先々月 38 人、先月 68 人、今月昨日時点で 33 人となっている。人数で見れば第 8 波前の水準と同様の感染者数である。各部においては、引き続き感染予防をお願いしたい。

(市長)

- ・第 8 波は収まるような傾向にあるが、ワクチン接種率も低くなっている。感染者数が減少すれば、ワクチンを接種しなくていいと考える人も出てくると思うが、担当部署においては、重症化リスク、死亡リスクが高い高齢者には、できるだけ高い接種率となるよう取り組んでいただきたい。
- ・分類見直しの話も出ているが、状況に応じた感染症対策を行う必要があり、市の判断を求められる場面も想定される。報道等による情報収集のほかに、現場の声をしっかり聴き、備えてほしい。

(以上)